

新庁舎建設検討委員会 職員ワーキンググループ 第5回防災・セキュリティ部会

1. 開催日時：平成30年12月26日（水）午後3時00分から午後5時00分
2. 開催場所：富良野市役所2階 議会打合室
3. 出席者：計7名
4. 報告事項

(1) 職員ワーキング第2回合同会議の報告

- ・開催概要の説明(資料配布)

⇒第1回合同会議以降の各部会における検討内容の報告

プロポーザルの際の図面等の資料による説明

1階のレイアウトについては、窓口・行政事務部会より意見あり

設備等に対するメニューは概ねフルメニューで盛り込まれていると思われる

5. 協議事項

(1) 部会報告(案)について

- 部会長がまとめた報告案の内容確認

①防災拠点機能

・非常用発電機については、夜間・休日などの対応として自動運転・自動切替の機能が必要ではないか？

・発電機用の備蓄燃料は長期間の保存に耐えられるのか？

・暖房での使用量を考慮して、燃料の備蓄を検討する必要がある

・防災無線は現行のアナログからの切り替えという考えで良いか？

⇒デジタル化のみで、同報系については予定していない

・停電時の敷地内の照明確保を考慮し、太陽光発電などで使えるハイブリッド型屋外照明器具の設置を提案

・汚水貯留槽などの設置については、浸水を想定すると地下埋設は厳しい

・塩素滅菌装置の設置については、運用が難しい

⇒通常使用されていない状況下で、塩素の調達をどうするか？の課題もあるが、残留塩素濃度と流入水量を計算したうえで、塩素の添加量を調整しなくてはならないため、実際に対応できる職員が上下水道課の一部の職員に限定されてしまう

・汚水貯留槽は、どの程度の避難所として位置付けるかによっても必要性が変わる

⇒避難所となる人材開発センターなどに先に設置すべきではないか？

庁舎建設に合わせてまずは設置を行い、今後、順次展開していくのか？

・避難所としての位置付けは、中長期的な避難所としても考える必要があると思われるが、防災計画の中での内容なので検討が必要

⇒指定避難所としての位置付けとなれば、水回りを含めて求められる機能は大きくなる

受け入れ人数の設定によって必要量が変わる(面積から算出するしかない)

・水害の際には防災拠点とならないと考えるが、それらを示す必要があるのではないか？

⇒市役所庁舎が大丈夫であったとしても、拠点からの出動もできない状況では防災拠点とは呼べないのではないか？

⇒100年に一度と言われる50cmの浸水を考えて1m程度嵩上げすることにより、貯留槽等の設置などの対応はできないだろうか？

⇒防水蓋などを使うことにより対応は可能だと思われるが、切替バルブの操作等をどうするかが課題であると思われる

- ・貯水槽の地下埋設に係る文言は削除した方が良いのではないかと？
- ・備蓄資材等の確保については、総務課防災担当に検討を任せたい

⇒庁舎内に保管するのは初期対応に必要な最小限の量で良いと思われる

②セキュリティ機能

- ・ゾーニングはこの案を基本に、施設内部のレイアウトに応じて適切に行ってもらえればよい

(2) その他

・浸水による影響を少なくするために、防災・セキュリティ部会の報告に1m程度の嵩上げの必要性を盛り込めないだろうか？

⇒正面入り口の勾配がきつくなると思われるが、その対応は設計者に考えてもらう

- ・出された意見を盛り込み報告書を修正し内容の確認をしていただきたい
- ・本日の部会で最終回となるが、資料などで気が付いた点などがあれば報告してもらいたい